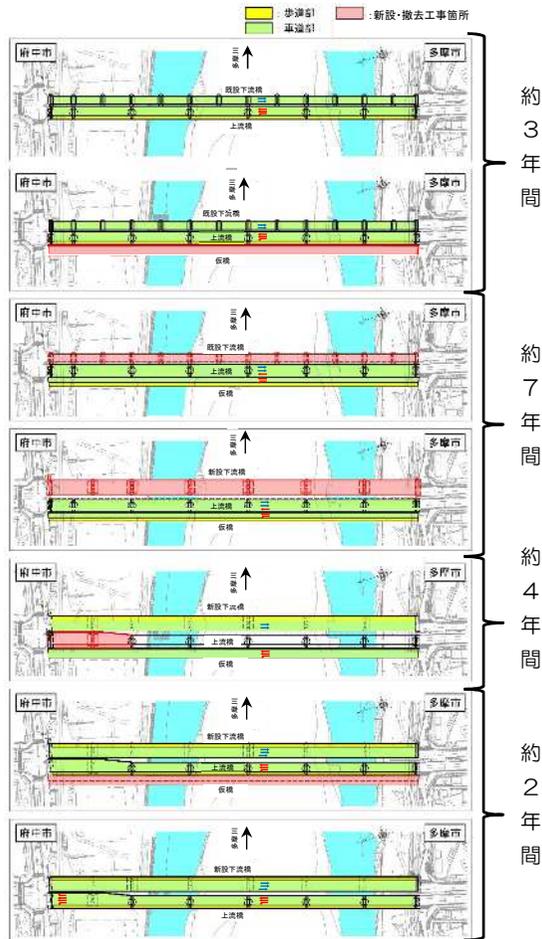
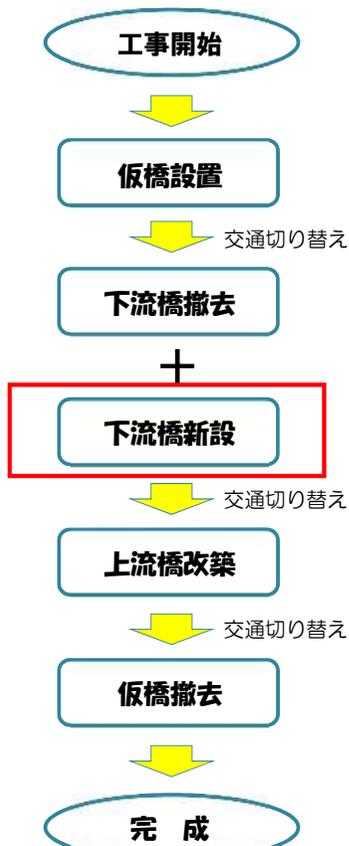


■ 関戸橋架け替え工事手順



約3年間

約7年間

約4年間

約2年間

【お問い合わせは・・・】

○ 事業全般に関すること

東京都北多摩南部建設事務所

工事第一課 設計担当 ☎ 042-330-1838

〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>

※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。



○ 仮橋に関すること

東京都南多摩東部建設事務所

工事課 道路設計総括担当 ☎ 042-720-8643

〒194-0021 東京都町田市中町1-31-12

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/nantou/>



関戸橋通信

～多摩市と府中市を結び
関戸橋架け替え事業～



Vol. 12
2024.10

発行

東京都北多摩南部建設事務所 工事第一課

東京都南多摩東部建設事務所 工事課

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/>

※「関戸橋通信」バックナンバーは、HPにて公開中です。



■ 橋の上部工事を実施します ～ 10年目・11年目工事に着手 ～

日頃より東京都の道路整備事業に、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年11月からの前回工事（9年目工事）におきましては、地域にお住いの皆様や橋を利用される多くの方々のご理解とご協力により工事を進め、橋脚の洗堀を防止するための工事を無事完成させることができました。どうもありがとうございました。

今年と来年の11月から着手する10年目・11年目工事では、橋梁の上部工事を進めてまいります。

今後もご利用の皆様には車両の出入りや一時的な交通規制などで、何かとご不便をおかけする場面もございますが、安全第一で着実に工事を進めてまいりますので、引続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



けんちゃん・せつちゃん

東京都北多摩南部建設事務所長

東京都南多摩東部建設事務所長



9年目工事完了状況（全景）（多摩川下流側から上流側を望む）令和6年6月撮影

橋の上部工事の概要

今年と来年の11月から着手する10年目・11年目工事は、新しい橋の上部（桁及び床版）^{みおすし}の工事をを行います。今回実施する工事においても、現在川の水が流れている瀾筋^{みおすし}を超えて中州に渡る必要があるため、昨年度と同様に、瀾替え^{せが}※1を行った後に工事を進めてまいります。

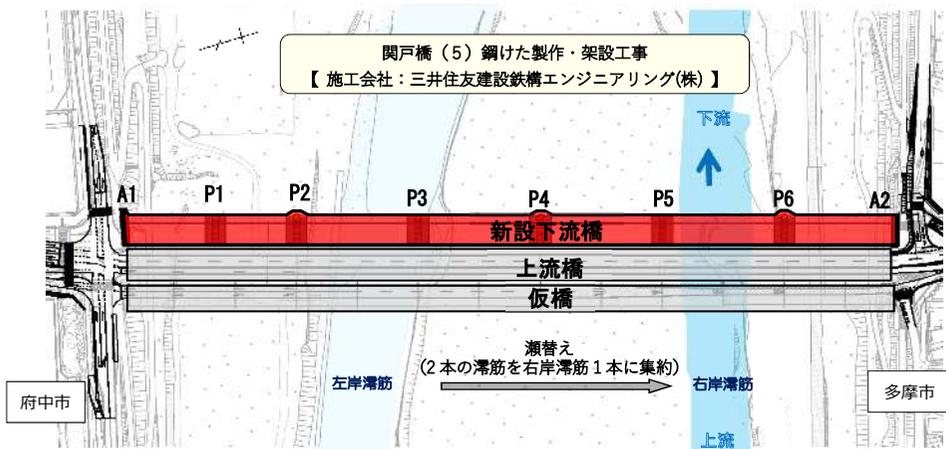
具体的には、10年目工事では、左岸側（府中市側）に流れている瀾筋^{みおすし}を川の上流で右岸側（多摩市側）^{みおすし}の瀾筋へ合流させる瀾替え^{せが}（瀾筋を一本化）を行った後、橋梁の桁架設を実施し、床版の一部（鋼板）の架設を行います【下図赤色の部分】。11年目工事では、床版の鉄筋コンクリートを打設します。

施工にあたっては、騒音や一時的な交通規制など周辺の皆様には何かとご不便ご迷惑をおかけするかとありますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

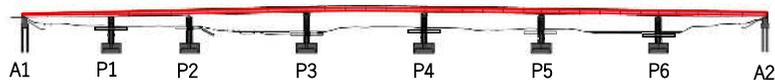
なお、10年目・11年目工事については、以下の施工会社で工事を行わせていただきます。

※1 瀾替え：新しい河道を掘削して瀾筋の流れを変える工事のこと。（工事完了後は元の位置に戻します。）

平面図



側面図



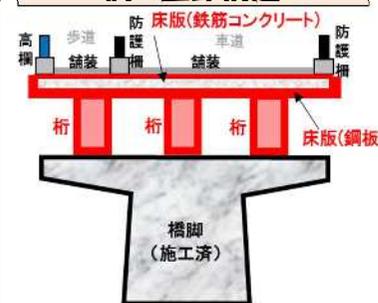
【凡例】 ■：施工済箇所 ■：今回構築箇所

上部工の施工について

令和元年度の5年目工事からこれまで新しい橋の下部工（橋脚6基、橋台2基）の構築を順次進め、下部工が完成しましたが、今回の10年目・11年目工事で、上部工を施工する予定です。

そこで、上部工事において、橋梁の上部構造と、今回採用している、「バント架設工法」についてご説明するとともに、工場での桁製作の状況についてご紹介します。

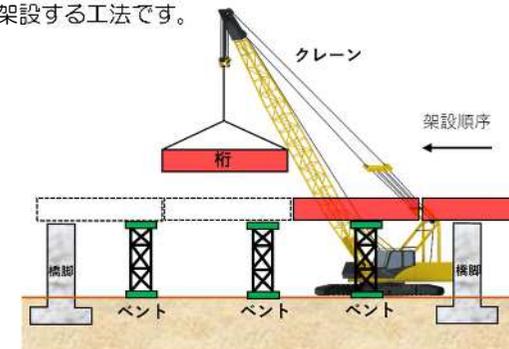
橋の上部構造



今回の工事では、桁及び床版【上図赤色の部分】を設置します。その後、別工事で舗装や高欄などの上部仕上げ工事を実施する予定です。

バント架設工法

鋼製のバント（仮設備・仮受台）を組み立て、架設する桁をバントで支持しながら、順次、クレーンによって桁を架設する工法です。



桁製作の状況



桁の仮組立の様子

製作した桁の様子



環境保全対策について(チョウゲンボウ)

関戸橋周辺では貴重な動植物が数多く確認されており、関戸橋通信 vol.8 で紹介したハヤブサ科の鳥「チョウゲンボウ」もそのうちの一種です。

チョウゲンボウは、毎年、春から夏にかけて崖や橋脚などに営巣し繁殖します。今年も無事に繁殖活動と幼鳥の巣立ちが確認されました。

関戸橋では保全対策のため巣箱の設置やモニタリング調査を継続するとともに、繁殖活動の妨げとならないよう細心の注意を払って工事を進めています。



関戸橋で確認された幼鳥
(令和6年6月撮影)